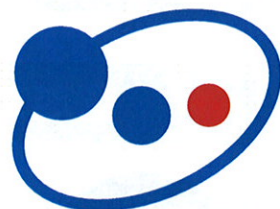


ヒューマンハーバー



Human Harbor

1月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.194 2011年(平成23年)1月10日(月)発行



『年頭の挨拶』

協同組合ハイコープ
理事長 山崎 晃

皆様、明けましておめでとうございます。
ご家族の皆様と輝かしい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

私は商売柄この7～8年定期的にシンガポールを訪問しています。あの国の2010年GDP成長率は12.5%であり、国民所得は約4万ドルでした。一方日本は1～0.5%成長で国民所得は4万5千～5万ドル位です。所謂シンガポールは先進国なのに何故このような違いがあるのか不思議に思っていました。IT関連産業の発展、また空港、港湾の24H開港は前から知っています。彼の国はそれだけでは安定成長が無いと思ったのか、7つの島を埋め立て石油コンビナートの開発を完成させました。また中国蘇州等のハイテク工業地区の共同開発を行い、これにより税金が上がる仕組みができた。また昨年観光でよく行くマライオン前の海に3つの超高層ビルが出来てオフィス他があり、一部のホテルは一泊100～50万円と聞いています。尚且つ、最上階を繋げて1フロアにし何とカジノになっているのです。これでは世界中の観光客が来てお金を落とすのは当たり前ではないかと思いました。

更に、現地の人言うにはあるレベル以上の人材しか移民を認めなく、世界中から優秀な人材が集まるそうです。シンガポールは1965年マレーシアから独立し、人口は現在500万人と聞きます。

この発展成長は国の政策がはっきりしている

政治の問題ではないかと思えます。最近是国家資本主義の感がし、(株)USA、中華人民共和国株式会社、韓国(株)等と言っても良いのではないかと感じます。

結局、産業を時代の変化に対応した業態、業種にし、人の居る所に行って商売するか、人を呼んで来て商売するではないかと思えます。政治行政の戦略的施策と個人の時代変化への対応が重要ではないかと思ふ次第です。来年こそは良い年になって欲しいと祈念いたします。

さて、リーマンショックの影響から100年に一度と言われる世界不況の学習効果で最悪期を脱したかと思われましたが、エコ減税に代表される景気対策効果が薄れつつあります。また円高、株安で大手企業の一段の海外移転の動きが出て、我々中小企業においてはまだ余談を許さないのが実態ではないでしょうか。

今年はまだ引続き厳しい年と覚悟しなければなりません。

今年も精一杯頑張りますのでどうぞ宜しくご指導とご協力の程お願いし、年頭の挨拶と致します。

平成23年新春

CONTENTS

巻頭	1
新春メッセージ(信越地区・長野地区本部長)	2
(山梨地区・関東地区本部長)	3
(総務委員長)	4
本部事務局から2011年の景況を読む	4
経営トップの修学旅行	6
医療機器・精密電子関連異業種交流会	6
第6回甲斐路100km歩け歩け大会に参加して	6
本部から	7
PETIT情報・編集後記	8